

主な内容

- ◆松本多一郎氏に全国都市監査委員会表彰…2
- ◆クライミングワールドカップ 2014…2
- ◆不法投棄は犯罪です…3
- ◆消防署の仕事を体験してみよう…3
- ◆鳥見神社・浦部の神楽を公開…7

10月は印旛沼水質浄化推進運動月間

印旛沼のために今できること

印西市の南東に位置する印旛沼は、飲料水、農業用水、工業用水の水源として、また、水産漁場や市民の憩いの場として、わたしたちの貴重な財産となっています。

しかし残念なことに、平成24年度の「全国湖沼の水質調査」では、水質の指標となる値が環境基準を超え、印旛沼が全国ワースト1位となってしまう（環境省発表）。そうした中で、印西市を含む流域市町と千葉県、関係団体では、さまざまな水質浄化対策に取り組んでいます。水の汚れを未然に防ぐには流域住民一人ひとりの心がけが大切です。

みなさんも、次のような「家庭でできる浄化対策」を実践し、水質の浄化にご協力をお願いします。

- ① 流しでは、ろ紙袋などを使用し、調理くずを流さない。
- ② 油はできる限り使いきり、流さないようにする。
- ③ 食器、鍋などの油は布でふき取ってから洗う。
- ④ 米のとぎ汁は、植木にまいたり、無洗米を使うなどで極力流さないようにする。
- ⑤ 洗車はバケツを使用し、洗剤は控えめにする。
- ⑥ 石けん・洗剤は適正量を使用する。
- ⑦ 沈殿槽の設置、側溝の清掃



▲印旛沼（吉高）の様子

を心掛ける。

- ⑧ 単独浄化槽から合併処理浄化槽への転換、窒素またはリン除去能力を有する高度処理型合併処理浄化槽の設置を心掛ける。

また、この時期は印旛沼に親しみ、環境について考えるイベントが開催されます。ぜひご参加いただき、印旛沼を身近に感じてみませんか。ほかにも印旛沼の浄化対策や取り組み、イベントなどをまとめて情報発信しているホームページ「いんばぬま情報広場」(<http://inbana-numa.com>)をぜひ、ご覧ください。

第12回印旛沼流域環境・体験フェア

印旛沼にふれあい、楽しみ、活動するイベントを開催します。
 時 ①10月25日(土)・午前11時～午後3時、②26日(日)・午前10時～午後2時。
 ※荒天時は、両日とも中止。
 場 佐倉ふれあい広場向かい(佐倉市白井田27714向かい)。

10月1日は浄化槽の日

浄化槽は、微生物の働きでトイレや台所などからの排水をきれいな水にして放流するための設備です。この機能を十分に発揮させるために、専門業者による適正な設置工事と保守点検・清掃が必要です。

また、浄化槽が適正に施工・管理され、正常に機能しているかどうかについて、指定機関による法定検査を受けることが義務づけられています。私たちの周りの大切な環境を守るため、浄化槽の正しい使用と管理を徹底しましょう。

☎(一社)千葉県浄化槽協会(☎043-246-2355)、環境保全課環境保全班。

全国中学校体育大会で躍動！市内中学生が健闘

市内3中学校《印西中(野球部、陸上部)・木刈中(陸上部)・小林中(体操)》の生徒達が千葉県大会・関東大会で好成績を残し、去る8月17～25日、四国各県で行われた全国中学校体育大会に見事出場し、健闘しました。

印西中学校野球部は強豪校に惜敗(1対0)、陸上部の久家迅雄さんは走高跳に出場。木刈中学校陸上部の川端脩也さんは800mに出場、海老田そらさんは棒高跳で決勝進出。小林中学校の吉村萌恵美さんは体操個人に出場しました。大会を終えた生徒達は、校長先生とともに市長と教育長へ結果を報告しました。報告の場では市長が

「これまでの努力、本番の活躍を称える言葉をいただき、教育長からは支えてくださったみなさんへの感謝の気持ちについての話がありました。生徒達はうなずきながら話を聞き、喜びを噛みしめていました。☎指導課指導班(☎内線534)。

ら今までの努力、本番の活躍を称える言葉をいただき、教育長からは支えてくださったみなさんへの感謝の気持ちについての話がありました。生徒達はうなずきながら話を聞き、喜びを噛みしめていました。☎指導課指導班(☎内線534)。



左から海老田そらさん、川端脩也さん、久家迅雄さん、吉村萌恵美さん



印西中野球部のみなさん

みんなで作ろう 美しいふるさと いんざい

10月26日(日)に、市内全域で一斉に「秋のゴミゼロ運動」を展開します。散乱ごみのないきれいな街を作るべく「クリーン印西推進運動」とあわせて、ご協力をお願いいたします。

「散乱ごみはみんなの意識で減らせます」 私たちの住んでいる周辺の道端で、空き缶やペットボトル、たばこの吸い殻などが散乱している風景を目にすることがあります。これは、道を歩いている人が捨てたものや車の窓から捨てられたものがほとんどです。こうした散乱ごみを減らすため、一人ひとりが「自分のごみは自分の手で」という意識を常にもち、決められた場所以外にごみを捨てないことが大切です。☎クリーン推進課不法投棄対策班(☎内線385)。

10月26日は「秋のゴミゼロ運動」